

朝夕はだいぶ暑さも和らぎ、秋の気配を感じる季節となりました。
場所によっては、紅葉がはじまるこの季節。
鮮やかに色づく木々を見に、少し遠くまで足をのばして紅葉狩りなんて素敵ですね。
木の色が変わるのは、葉っぱだけではないことをご存知でしたか？



家族の成長とともに “経年美化”

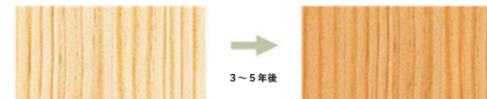
木は、使い込むほどにしっかりと落ち着いた色に変わっていきます。
これは「経年美化」と呼ばれ、木の細胞に含まれる樹脂が、長い時間をかけて表面に浮き出てくるために起こります。
木の使い方や置かれる環境によって色の変化もさまざま。
もちろん、樹種によっても変わってきます。



樹種：ニュージーパイン® ナチュラル色 [キッチン扉・5年使用]

写真はウッドワンが苗木から育てたニュージーパイン®を、加工して作った無垢の木のキッチン扉。5年経過し、すっかり艶色に変化しています。
時を重ねるほどに増していく深みのある艶は、新品のときにはけっして味わうことができません。

ニュージーパイン® 経年美化



木の色の変化を不安要素と感じられている方も多いかもかもしれませんが、「わが家だけの色」になっていくと思うと、少し楽しみに思えませんか？
10年後、20年後、その表情には、家族の歴史もしっかり映し出されていることでしょう。

木と組み合わせて・・・経年を味わえる素材 “無垢の木のキッチン su:iji (スイージー) アイテム紹介”

本物の無垢の木を扉に使用しているウッドワンのキッチン スイージー。意匠性もさることながら、表面が剥がれることなく未永くお使いいただけることも人気のポイントです。そんなスイージーには、木の味わいに負けない個性豊かなアイテムが揃っています。無垢の扉とともに時を重ねていけるアイテムを一部ご紹介！



こだわり取手セクション 真鍮六角ハンドル、つまみ

銅と亜鉛の合金で、美しく輝く金属であり、比較的柔らかく加工しやすいことから、美術工芸品や金属楽器の素材として使われているのが真鍮です。
初めは黄金色ですが、酸素に触れると表面は酸化し、過ぎた時間とともに、黒っぽく、味わいのある落ち着いた雰囲気に変化していきます。
緑色のさびが発生することがありますが、これは真鍮に含まれる銅のさびで緑青（ろくしょう）と言い、衛生的には問題がないと言われている真鍮ならではの特徴です。



女性職人のつくった真鍮六角つまみ(生地) [5年使用]

こだわり取手セクション 真鍮×陶磁器つまみ

薄桃色の土に釉薬をかけて焼き、真鍮でつつんだつまみです。
真鍮の色の変化だけでなく、陶磁器の色むらや貫入の入っていく様子など、暮らしにあわせて深みのある質感へと育っていきます。



【斑点】黒い点は空気中に含まれている鉄分が反応した部分

【色むら】

【貫入】陶の素地と釉の膨張率・収縮率の違いによって、表面の釉に網目のように広がるヒビのこと。季節の変化や天気といった温度と湿度の変化などに起因する焼き物ならではの味わいのひとつです。

ステンレス バイブレーション

バイブレーション仕上げと呼ばれる研磨加工を施すことで、落ち着いたあるまっとな風合いに仕上げているステンレスバイブレーション。スイージーのワークトップの中でも人気アイテムのひとつです。
使い込むほど味わいが増し、プロの厨房のような雰囲気を演出します。



ステンレスバイブレーション [5年使用]

知っておきたい “個性際立つ木の豊かな表情”

無垢の木の魅力は何といってもその豊かな表情。
経年美化とあわせて、木の特徴も個性ある表情となり、二つとない存在感を住空間にもたらしめます。
大自然の中で生きてきたからこそ個性が私たちの目を和ませ、楽しませ、ずっと大切に使いていきたいという愛着を育てていこう。その木だけの個性を見逃さないように、本物の証であるバラエティーに富んだ木の表情をご紹介します！

オーク



【虎斑】^{どらぶ}天才肌ゆえのきらめき。

オーク（ナラ）の材には幅の広い放射組織※があり、柀目面に銀色の斑となって現れます。これを「虎斑」といい、光の加減によってキラキラ光るなど見え方が変わります。
オーク独特の紋様として、古くから大切にされているんですよ。

※放射組織(広葉樹) …木が成長するのに必要な栄養分を貯蔵する部分で、繊維方向に直交した組織

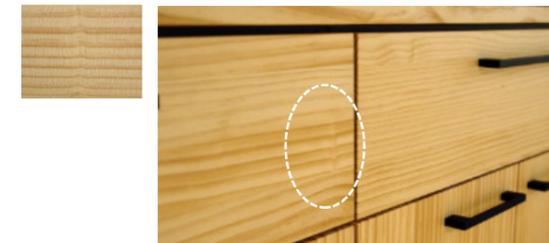


ダイニングテーブル：su:iji furniture ナラ (節あり)

【節かげ】きらりと光るひと筋。

節の影響で枝まわりの木の組織が筋状に光って見えること。柀目のニュージーパイン®で目立つ特徴のひとつです。木の成長過程が感じられますね。

ニュージーパイン®



ニュージーパイン®



【入り皮】ケガもしながら大きくなった。

木が成長する間には、悪天候にあたり鳥につつかれたり、何かの原因で樹皮が傷つくこともあります。その場合は、樹皮のすぐ下にある形成層※が、傷ついた樹皮を取り込んで修復しながら成長を続けます。これが「入り皮」。木の強い生命力の証ですね！

※形成層…春から秋にかけて細胞分裂を行い、樹幹を大きくする組織

オーク



メープル



ウォールナット



【濃淡】色白、赤ら顔、並ぶと楽しい。

淡かったり、赤みががかったり、木の色合いは同じものが二つとありませんね。木が心材化※すると木に含まれる成分が変化して色が濃くなりますが、その色合いは個々の木で千差万別。板状につなぐと、目に心地よい自然な濃淡のコントラストが生まれます。

※心材化…生きた細胞が死んで堅くなり、湿気に強くなること。



キッチン：su:iji WN80 クリア塗装
ダイニングテーブル：su:iji furniture ウォールナット
床：コンピット®ソリッド (ユニタイプ) ウォールナット